

5 教育目的

外国語学部： 外国語の高度な運用能力を持ち、専攻する地域の文化・社会・歴史・政治経済と国際関係に関する専門的知識を有し、国際社会で活躍できるグローバルな人材の養成

英 米 学 科	中 国 学 科	国際関係学科
高度な英語運用能力と、英米および英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	高度かつ実践的な中国語運用能力と、中国及び中国語圏の言語・文学・文化・歴史・経済などに関する専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	国際関係と地域研究の発展的な知識と、英語を中心に優れた語学力を兼ね備え、グローバルな視野に立って活躍できる国際人の養成

経済学部： 幅広い教養と経済・経営情報に関する基礎及び応用分野の知識を持ち、社会や経済・経営の諸問題を論理的に分析し解決する能力を兼ね備えた人材の養成

経 済 学 科	経 営 情 報 学 科
豊かな教養と経済学の基礎及び応用分野に関する知識を兼ね備え、理論と実践を統合することにより、社会や経済の諸問題を解決できる人材の養成	幅広い教養を身につけ、経営学を理解し、情報科学や会計学の手法も駆使することで、さまざまな企業経営や社会に関する諸問題を解決できる人材の養成

文学部： 自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材、または、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

比 較 文 化 学 科	人 間 関 係 学 科
日本文化と欧米文化をはじめとする異文化への深い認識を持ち、自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材の養成	人間の存在、行動、発達を社会環境や自然環境などとの関連において学際的、総合的に把握し、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

法学部： 社会における様々な問題を発見・分析する能力を備え、法的思考力や政策立案・評価能力を駆使することにより、弾力的で総合的な判断に基づいて問題を解決し、社会の発展に貢献することができる人材の養成

法 律 学 科	政 策 科 学 科
法理論の深い理解、広い知識及び総合的判断力を持ち、法現象に対して弾力的に対処し得る法的思考力・処理能力を備えた人材の養成	地域社会、国際社会などにおける様々な問題を発見し分析する能力、解決策を立案する能力、さらに評価能力を有した人材の養成

地域創生学群： 幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

地 域 創 生 学 類
幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

国際環境工学部：環境問題に対する深い認識（環境マインド）を持ち、工学の多様化に対応できる基礎素養と工学的専門知識ならびに問題解決能力を備え、社会の持続的発展に貢献できる人材の養成

環境化学工学科	機械システム工学科	情報システム工学科	建築デザイン学科	生命工学科
化学に関する基礎学力と実践力を身につけ、物質変換を含む物質の流れを制御することにより物質の生産、エネルギー・資源循環、環境改善を実現する人材の養成	機械システム技術者として、環境に配慮したもののづくりで、「豊かな社会」と「持続可能な社会」との両立に貢献できる人材の養成	電子・情報・通信を基礎とする情報システム工学を理解し、情報環境の生み出す諸問題を解決できる能力を持つ人材の養成	建築デザイン及び建築技術に関する基礎学力と実践力を身につけ、地球環境に配慮した建築・都市の創造と保全に貢献できるアーキテクト・マインドと技術者倫理を理解した人材の養成	生物・生態・環境の本質を理解し、活用するための基礎学力と実践力を身につけるとともに、バイオテクノロジーやエコテクノロジーを活用した技術開発力や環境問題への対応能力を持つ人材の養成

情報イノベーション学部：急速に発展・変化する情報技術分野や情報社会に柔軟に対応し、自己学習を継続しながら新たな挑戦を続ける主体性を備えるとともに、国際的な視座と多分野にわたる広範な知識、科学技術の倫理観も兼ね備え、持続可能な社会の実現に貢献するリーダーシップを発揮できる人材の養成

情報エンジニアリング学科	共創社会システム学科
情報工学の理論と技術を基盤に、数理的思考や計算機技術の応用力、さらに人工知能（AI）を含む知能情報処理の実践的スキルを育成し、情報技術を通じて実社会の課題解決に貢献できる人材の養成	情報工学の理論と技術を基盤に、社会科学等多分野の知見と融合させながら、持続可能な社会の構築や地域課題の解決に向けて実践的に貢献できる人材の養成